

2

携帯電話や自動車部品などに使われる特殊合金加工や精密切削加工などを行う新庄金属工業株式会社。年間3000アイテム以上の加工部品を数十個から数万個の単位で生産する多品種少量生産が強みだ。同社では、3交代制で工場を24時間365日休みなく稼働させている。「当社では生産拠点を海外に移すつもりは全くありません。そこで、どうすれば日本国内でものづくりを継続できるのかを考えて導き出したのが、会社が持つ設備や能力をフルに発揮する24時間365日稼働だったんです。儲けるためじゃなく、会社や社員が日本でものづくりを続けるための道標であり、そのベクトルが“日本最強工場”というキーワードに集約されているんですよ」と語る代表取締役の益山利二氏。そのための設備投資は惜しまず、常に最新の機械を導入して、社員の技術がフルに具現化される環境を整えている。「社員が無理することなく24時間365日稼働できる仕組みを構築しているのも、当社の技術のひとつだと考えています」と語るのは、専務取締役の益山慶三氏。いかにマンパワーをかけずに24時間連続稼働を実現し、なおかつ高品質な製品を作り続けるか、そこが同社にとって一番のノウハウといっても過言ではないそうだ。

新庄金属工業グループ 新庄金属工業株式会社

東大阪市高井田中2-3-26
TEL 06-6781-8000
<http://www.shinjohokushin.jp/>

社員一丸で日本最強工場を目指し、 100年企業となるべく邁進する!

新庄金属工業では“顧客満足はまず従業員満足から”を実践しており、社員は規定の休日をきちんと消化しているほか、社内クラブ活動も盛んで、社内勉強会などにも積極的に参加する。こうした環境を構築するために、経営者である二人が取り組んだのは『すべてを社員にきちんと説明して情報開示する』こと。価格勝負ではなく技術で勝負するには社員のモチベーションが必要で、その源泉のひとつが“情報”なのだ。「自分が作る部品がどんな製品のどこに使われるのかに始まり、会社の売上や利益といった経営情報まで包み隠さず伝えます。もちろん24時間365日稼働の必要性についても、社員が理解するまでとことん説明しました。それが絆を生み、会社を前進させるんですよ」と利二氏。

また、技術を成長させるためには失敗が必要だという。「初めての挑戦を重ねないと技術を成長させることはできません。そして初めての挑戦につきものなのが失敗ですから、失敗は成功のきっかけということで

すよね。そう考えると、失敗は成功の兄弟のようなものですね(笑)。だから小さな失敗は全然問題ない。それよりも失敗を恐れて何もしないことの方が問題です。“成功”の反対語は“失敗”ではなく“何もしないこと”なんです」と慶三氏。

2012年はちょうど創業50年に当たるが、二人が目指すのは『100年企業』だ。「我々は、先代から引き継いだこの会社を次世代に引き継ぐためのリレー走者だと思っています。我々は100年目を見られないかもしれませんが、次世代のメンバーがより良い状態で100年目を迎えられるように、最大限の努力をしていきたいですね」



製造 太田課長

古賀 製造技師